



府中小学校だより

伊賀市立府中小学校
2023年 11月17日
NO.13 校長 林 康子

ちくこんだんかい しゅっせき 地区懇談会にご出席いただき、ありがとうございます。

11月8・9・10日に、地区委員さんの運営のもと地区懇談会が開催されました。初めに、人権研修として、2024年から導入される伊賀市の中学校の制服を話題にして、「性差にこだわらない多様な生き方」について考えを出し合いました。次に、子どもたちの登下校の様子について、情報を共有しました。お忙しい中、区長様、民生児童委員様、民生委員様、親師会の役員様、保護者の皆様、お集まりいただき、ありがとうございます。また、早くから会場準備等していただきました区長様、地区委員の皆様、お世話になり、ありがとうございます。

子どもも大人も、安全で安心して過ごせる、学校や地域づくりが進められるように、思いや考えを出し合い互いを理解し合えるような場を、学校でも地域でも重ねていくことが大切だと感じました。貴重なご意見をたくさんいただき、本当にありがとうございました。



◆この定食はいくらでしょう。◆

さんまのかばやき、ほうれん草と白菜のごまあえ、もずく入りのみそ汁、そしてご飯。みなさんならこの定食にいくら払われますか。500円位？800円位？しかも、このご飯は、食べる人の年齢や身長などから適切な量が提供されています。塩分も計算されています。

もう、おわかりかと思えます。これは、学校給食で280円(食材量費のみ)です。

食材は、本校の栄養教諭と学校栄養職員が安全で安心なものを安く入手するため、自分の目で食材を見て確かめ、毎月入札をして購入しています。また、味付けは、子どもの頃の味覚が生活習慣病に影響するため、できるだけ薄味にされています。しかし、だしをしっかりとることやショウガやごまを使用するなどの工夫により、毎日おいしくいただいています。

令和4年度の学校基本調査によると、公立の給食を実施している全学校の栄養教諭および学校栄養職員の配置率は41%。食の安全管理や栄養の指導を行う栄養教諭および学校栄養職員が本校に配置されている事を活かして、今後も食育の指導に力を入れていきます。

11月の児童集会を開催



11月13日(月)、児童集会を行いました。児童会役員から、2007年に始まったカナダのピンクシャツ運動の紹介がありました。ピンクシャツ運動とは、ピンクのシャツを着て登校した少年がいじめられ、それを聞いた先輩2人が50枚のピンクシャツを購入して、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけたことから始まった、いじめをみんなでなくす運動です。

児童会役員の子どもたちは、運動の紹介や劇をしながら、「いじめストップ」を訴えました。



赤い羽根募金にご協力いただきまして、ありがとうございました。



授業参観時に、赤い羽根募金をお願いしましたところ、2,055円集まりました。ご協力いただきまして、ありがとうございました。このお金は伊賀市社会福祉協議会にお届けします。

【校長室から】

先日、上野南中学校の3年生の社会の授業を参観しました。伊賀市まちづくりアンケート結果をもとに課題を考え、解決策を提案するという授業でした。一人一台のタブレットPCに自分の考えを入れてあり、それをもとに、グループで協議し、まとめたものを大きなテレビで写しながら、「私は医療と福祉は満足しています。しかし、交通については本数が少なく、高校に通うのに不便です。改善の優先課題と考えます」「ぼくは、産業が課題だと考えます。イオンやカラオケがなく、遊びに行くところがありません。そのせいで、伊賀市から離れる人もいるのでは」といった発表が続きました。発表をずっと聞いていたのですが、チャイムがなり、先生から宿題が提示されました。「10年後、市長になったと仮定して、公約を考えてみましょう。子どもの目線だけで考えてはいけませんよ」

全員がタブレットを持って自分の考えを発表する姿、伊賀市の課題をグループで協議する姿、市長目線で改善策を考えようとする姿はとても

頼もしく感じました。先の見えにくい社会を生き抜く

子どもたちには、広く情報を収集し、それをもとに自分の考えをしっかりともち、他者と協議し、調整しよりよい策を導き出していく、このような授業が大切だと思いました。

